

# ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2020年7月分)

2020年8月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

## 目次(以下は主なトピックを抜粋)

### 1. 国内情勢

#### (1) 国家レベル

●[BH国内で新型コロナウイルス感染拡大の傾向\(1～31日\)](#)

●[スレブレニツァ虐殺25周年追悼式典の開催\(11日\)](#)

●[ツイコティッチ新BH治安相の就任\(23日\)](#)

●[本年のBH国家予算が成立\(29日\)](#)

#### (2) エンティティ、特別区

##### ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●[CEC、モスタル市議会選挙を公示\(23日\)](#)

##### イ. スルプスカ共和国(RS)

●[ブチッチ・セルビア大統領のパニャ・ルカ訪問\(23日\)](#)

### 2. 外政

#### (1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●[テゲルティヤ首相、ヴァールヘイ欧州委員会委員と電話会談\(20日\)](#)

#### (2) 二国間関係

●[米国議会下院議員、スレブレニツァ虐殺に関する決議案を議会に提出\(15日\)](#)

#### (3) 日・BH関係

●[坂本大使のトゥルコビッチ副首相兼外相との会談\(15日\)](#)

### 3. 経済

#### (1) 経済指標

#### (2) 経済協力(新型コロナウイルス対策支援を含む)

#### (3) 民間セクター

●[BHへの直接投資、減少の傾向\(10日\)](#)

(注: 本月報は、当地紙報道などの公開情報をとりまとめたものです。)

## 1. 国内情勢

### (1) 国家レベル

#### ●BH国内で新型コロナウイルス感染拡大の傾向(1～31日)

BH国内では7月の新型コロナウイルス感染者数が7,501人となるなど、感染が引き続き拡大の傾向にあり、BH国内の各機関は感染防止対策の徹底を呼びかけている。一方で、14日、BH政府はEUおよびシェンゲン協定圏内各国の市民に対する入国規制措置を緩和し、検体採取から48時間以内の新型コロナウイルス陰性結果証明の提示を条件として入国を許可する方針を決定し、16日に発効した。

#### ●新型コロナウイルス、政界でも感染が拡大(1～31日)

BH国内の政界でも新型コロナウイルス感染が拡大の傾向。13日、ノバリッチBH連邦首相の感染が判明したのに続き、15日にはビシュコビッチ・スルプスカ共和国首相、19日にはチョービッチHDZ(クロアチア系与党)党首の感染も確認された(注:3氏は8月10日時点で既に回復)。一方で、29日、サラエボ大学病院は、同ウイルスへの感染により同病院に入院していたブクバレビッチBH連邦退役軍人相が死亡した旨を発表した。

#### ●BH憲法裁、統一地方選の投票日延期決定に対する無効化請求を棄却(2日)

BH憲法裁判所が、本年統一地方選挙の投票日延期に関するBH中央選挙管理委員会(CEC)の決定に対しスルプスカ共和国国民議会のセルビア系与党SNSDを中心とする議員団が提出していた決定の無効化請求を棄却。同問題をめぐっては、CECは10月4日を投票日として5月7日に同選挙を公示したもの

の、選挙実施予算確保の遅れから、同23日には投票日を11月15日に延期する旨を決定。一方で、選挙法が認める投票日延期の上限は30日であることから、一部政党がCECの決定に反発していた。

#### ●スレブレニツァ虐殺25周年追悼式典の開催(11日)

スレブレニツァ虐殺25周年の追悼式典がスレブレニツァ市近郊のポトチャリで開催され、ジャフェロビッチ大統領評議会議長(元首、ボシュニャク系)やコムシッチ同クロアチア系メンバーらBH要人のほか、各国大使および国際機関の代表らが出席。ジャフェロビッチ議長は式典挨拶において、上級代表をはじめとする国際社会に対し、ジェノサイドの歴史的事実の否定を禁じる罰則法の制定を要請する意向を重ねて示した。なお、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、本年式典は規模・出席者数を大幅に縮小して開催された。

#### ●ツィコティッチ新BH治安相の就任(23日)

BH議会下院が、BH閣僚評議会(注:中央政府)によるツィコティッチ新BH治安相(ボシュニャク系与党SDA所属)の任命を、SDAおよびSNSD(セルビア系与党第一党)などの賛成多数により承認し(クロアチア系与党HDZは反対)、同日、同大臣が就任した。治安大臣のポストは、6月にラドンチッチ前大臣(よりよき未来のための同盟(SBB)党首)が辞任して以来、空席となっていた。

#### ●本年のBH国家予算が成立(29日)

BH議会上下両院が本年国家予算の採択プロセスを完了し、同予算が成立。予算の内、国家機関の活動経費は昨年予算から3,000

万KM増の9億9,600万KM(約5億900万ユーロ)。この内、420万KM(214万ユーロ)が本年の統一地方選挙の実施に充てられる予定。国家予算の成立を受け、バラカルCEC委員長(クロアチア系)は、投票日の再延期を避けるべく、11月(注:モスタル市のみ12月)の選挙実施に向け至急選挙実施の準備に入る方針を述べた。

## (2)エンティティ、特別区

### ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

#### ●CEC、モスタル市議会選挙を公示(23日)

BH中央選挙管理委員会(CEC)が、12月20日を投票日としてモスタル市議会選挙を公示。同市で選挙が実施されれば前回2008年以来となる。先月には、同市で政権を握るSDAとHDZがBH憲法裁判所の判決に則した選挙法改正に合意したことを受け、7月7日にBH議会が改正選挙法を承認・成立していた。一方で、BHクロアチア系各党が組織するクロアチア民族評議会(HNS)は、今回のCECの決定に強く反発、11月の統一地方選挙との同日実施を求めている。

### イ. スルブスカ共和国(RS)

#### ●ドディック大統領評議会メンバー、NATO加盟への反対姿勢を重ねて強調(19日)

ドディック大統領評議会セルビア系メンバーがセルビアの日刊紙「ポリティカ」のインタビューに対し、BHのNATO加盟に反対する姿勢を重ねて強調。ドディック・メンバーは、NATOは理由もなく我々を攻撃した組織であると発言、BHがNATOへの加盟を望むのであれば、RSはそれを認める条件として、BHからのRSの独立を要求すると述べた。

#### ●RS与野党、バニャ・ルカ市長選候補を決定(22、28日)

本年11月に予定されている統一地方選挙に向け、RS与野党がRSの中心都市バニャ・ルカ市長選の候補者をそれぞれ決定。22日、野党第一党のSDS(セルビア民主党)および同第二党の民主進歩党(PDP)は、PDP所属のスタニブコビッチRS国民議会議員を候補者とする選挙協力に合意。一方で、与党SNSDは、28日、先に同党が他9党との間で結んだ選挙協力方針に基づき、同選挙の候補にSNSD所属のラドイッチ現市長を指名した。

#### ●ブチッチ・セルビア大統領のバニャ・ルカ訪問(23日)

ブチッチ・セルビア大統領がRSの中心都市バニャ・ルカを訪問し、ドディック大統領評議会メンバーとともにセルビア政府による対RS医療支援の記念式典に出席。同式典でブチッチ大統領は、セルビアにはRSを支援する義務があると述べるとともに、先に再開したコソボ問題をめぐるベオグラード＝プリシュティナ間対話に対するRSの立場を確認する考えを示した。これに対してドディック・メンバーは、コソボ問題は、BHにおけるRSの地位問題と不可分であるとする従来の考えを重ねて示した。

## 2. 外政

### (1)多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

#### ●テゲルティヤ首相、ヴァールヘイ欧州委員会委員と電話会談(20日)

テゲルティヤ閣僚評議会議長(注:首相)がヴァールヘイ欧州委員会近隣・拡大政策担当委員と電話会談を実施。両者は、BHのEU加盟プロセスのほか、新型コロナウイルス問題

への対応につき話し合った。テゲルティヤ首相がEUの対BH医療支援へ謝意を述べたのに対し、ヴァールハイ委員はBHの医療セクターに対する更なる支援に加え、本年秋には欧州委員会に、西バルカン地域諸国に対するEUの経済・投資計画を提案する予定である旨を述べた。

## (2) 二国間関係

### ●BHとセルビア、BH共和国軍元司令官に対する判決をめぐり対立(6日)

BHとセルビアは、セルビアの裁判所が先の紛争時のBH共和国(ボシュニャク系主体)軍元司令官に対し戦争犯罪の罪で禁固10年の判決を下したことをめぐり対立。同判決につきトルコビッチBH外相は、BH・セルビア両国が結んでいる戦犯容疑者に対する司法手続に関する取決違反に当たるとしてセルビア側を非難。これに対してダチッチ・セルビア外相は、判決に対する非難はセルビア司法への不当な干渉であるとしてBHを非難した。この後、両国は自国の駐在大使を本国に一時召還する事態に発展した。

### ●米国議会下院議員、スレブレニツァ虐殺に関する決議案を議会に提出(15日)

スレブレニツァ虐殺25周年にあわせ、米国議会下院の民主党議員らがスレブレニツァ虐殺に関する決議案を議会に提出。同決議案ではスレブレニツァ虐殺を非難するとともに、一部政治勢力による近年の歴史修正主義的言動を踏まえ、同虐殺の事実を否定ないしは疑問に付す発言や政策を明確に批判。また、和平履行評議会(PIC)に対して、上級代表事務所(OHR)への十分な資金の提供を求めるとともに、上級代表に対して、デイトン和平合意

の完全な履行に向けた適確な権限行使を要請している。

## (3) 日・BH関係

### ●坂本大使のトルコビッチ副首相兼外相との会談(15日)

坂本駐BH日本国大使がトルコビッチ副首相兼外務大臣と会談。会談では、日本とBHの二国間関係の強化や、BHの政治・経済情勢等につき話し合った。トルコビッチ副首相兼外務大臣からは、長年にわたる日本の対BH開発協力への謝意が表明された。



(写真: 坂本大使とトルコビッチ大臣)

## 3. 経済

### (1) 経済指標(BH統計庁)

#### ●GDP成長率

2019年の国内GDP成長率は、前年比で5.34%のプラス、実質では2.68%のプラス成長。

#### ●産業生産指数

2020年6月の産業生産指数は、季節調整後の数値で前月比2.9%のプラス、前年同期比では10.6%のマイナス。

### ●貿易収支

2020年1～6月の輸出額は、前年同期比で15.1%マイナスの49億4,900万KM(約25億3,000万ユーロ)、輸入額は前年同期比で18%マイナスの80億2,100万KM(約41億ユーロ)。輸出額から輸入額を引いた貿易収支は30億7,200万KM(約15億7,000万ユーロ)の赤字。輸出・輸入額の上位5か国は以下の通り。

| BHからの輸出 | BHへの輸入  |
|---------|---------|
| ① ドイツ   | ① ドイツ   |
| ② クロアチア | ② イタリア  |
| ③ セルビア  | ③ セルビア  |
| ④ イタリア  | ④ クロアチア |
| ⑤ スロベニア | ⑤ 中国    |

### ●雇用／失業率

2020年5月の失業登録者数は42万1,474人。前年同期比で3.64%の増加。

### ●平均給与

2020年5月の平均給与(手取り)は940KM(約480ユーロ)で、前年同期比で1.4%のプラス。

### ●消費者物価指数

2020年6月の消費者物価指数は前年同期比で1.5%のマイナス。

### ●観光客数

2020年6月にBHを訪れた観光客数は2万6,542人で、前年同期比で552.7%のマイナス。

## (2)経済協力(新型コロナウイルス対策支援を含む)

### ●EUとEBRD、中小企業支援を強化へ(9日)

EUと欧州復興開発銀行(EBRD)が、新型コロナウイルス問題により業績が悪化したBHを含む西バルカン地域諸国内の中小企業に対する資金援助を強化する方針。このうちEBRDは7,000万ユーロを、EUは1,500万ユーロをそれぞれ同支援計画に充てるとしており、支援規模は計8,500万ユーロにのぼる見通し。

### ●EU、BHの洪水被害地域に資金援助(14日)

6月の大雨により洪水の被害を受けたBH北東部地域への支援として、EUが6万5,000ユーロの資金援助を実施。6月の洪水では1万5,000人を超える住民が家屋などに被害を受けるとともに、各地で水道設備が損傷するなどしており、今回の資金はこれら施設の復旧などに充てられる見込み。

### ●EIB、高速道路欧州回廊5c線の建設に資金援助へ(30日)

欧州投資銀行(EIB)が、高速道路欧州回廊5c線のBH国内部分の建設に対し1,180万ユーロの資金供与を実施する契約書に署名。同資金は今後、BH中部のタルチン＝イバン間の建設費用に充てられる予定。

## (3)民間セクター

### ●BHへの直接投資、減少の傾向(10日)

2020年第1四半期の国外からの対BH直接投資額は2億4,320万KM(約1億2,434万ユーロ)で、前年同期比でマイナス3.4%となった。